

推薦(財)全日本交通安全協会

# 明日はあなたかもしれない

— 交通事故、個人の責任・企業の責任 —



指導 日本大学教授  
金融庁自賠責保険審議会委員  
福田 弥 夫

カラー 23分 VHS 52,500円 (字幕版共)  
(税込価格) DVD 63,000円 (字幕版共)

企画・制作 ■ 新生映画株式会社  
<http://www.shinsei-eiga.co.jp>

# 明日はあなたかもしれない

— 交通事故、個人の責任・企業の責任 —

## ■映画のねらい■

絶える事のない交通事故。

ひとたび交通事故を起こせば、車を運転していた本人が責任を負うことは当然のことですが、その影響は家族にも及びます。また、企業活動中の事故であれば企業にも責任が及びます。

本ビデオでは交通事故の責任、「社会的・道義的責任」、「法的責任（民事上・刑事上・行政上）」、また企業が被る「直接的損失」「副次的損失」について分かり易く解説します。

交通事故が事故を起こした本人だけでなく、企業活動中の事故であれば使用者たる企業にも責任が及び、その影響は家族やその周辺の人達へ計り知れない影響を及ぼすという事。その責任の重さを理解していただけるよう描き、安全運転に徹するよう訴えます。

## ■映画の内容■

〇〇〇フーズの営業、立花はある日得意先へ向かう途中人身事故を起こしてしまう。相手は個人事業主で片方の手足を骨折して全治六ヶ月の重傷。この事故をきっかけに、地元住民の信用を第一に考える取引先との商談がキャンセルされる。立花は相手との示談が成立するまで、営業から外されることになった。

また、同僚への担当企業の振り分けや、立花本人及び上司の事故処理への対応など会社の業務へも影響を及ぼすことに……。やがて妻も過労で入院してしまう。

事故が立花本人だけでなく周囲に及ぼす影響は計り知れない。一年に及んだ示談交渉もようやく成立。営業に戻った立花。一度破綻した取引先との商談も成立する。明るく仕事に励む立花。そこには、もう事故はこりごとと、安全運転を誓い、慎重にハンドルを握りながら運転する立花の姿があった。

**ドラマの合間に、交通事故の個人責任・企業責任及びそのリスクについて、専門家が具体的に分かり易く解説する構成になっています。**

制作 ■ 新生映画株式会社

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町6-20-403  
TEL 03(3464)4841 FAX 03(3464)4855

配給